

第2回

旧杉並中継所の跡地活用に関する 意見交換会

令和6年12月14日（土）
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

意見交換会全体のスケジュール・テーマ等

回	日程	テーマ(予定)
第1回	令和6年(2024年) 11月17日(日)	○旧杉並中継所の跡地活用の検討経過について知ろう！ ○アーバンスポーツを取り巻く環境等について理解を深めよう！ ○旧杉並中継所跡地にアーバンスポーツ施設を整備した場合の影響(嬉しい影響・心配な影響)や、施設整備に当たっての課題・解決策等について意見交換しよう！
第2回	令和6年(2024年) 12月14日(土)	○第1回の意見交換会で出た意見等を振り返り、共有しよう！ ○第1回の意見を踏まえて、アーバンスポーツができる施設を整備する場合の課題の解決策を具体化しよう！
第3回	令和7年(2025年) 1月19日(日)	○第2回までの意見交換を踏まえて施設整備の実現性について考えてみよう！ ○全3回の意見交換会に参加した感想を共有しよう！

※進捗に応じて回数や内容が変更になる場合があります。

○意見交換会の参加者以外の方の意見を聞いていくため、アンケートを実施しています(11月上旬～1月31日(金)を予定)。アンケートには、区公式ホームページにあるリンクからアクセスいただけます。

区公式ホームページ(旧杉並中継所の跡地活用に関するページ)はこちら



○意見交換会等でいただいた意見を踏まえ、**最終的には区が施設整備の方向性を決定します。**

○アーバンスポーツができる施設を整備する場合の課題について、具体的な解決策を考えることができた！

本日(第2回)のプログラム

時間(予定)	内容
14:00~14:05	本日のテーマとゴール、プログラムの説明
14:05~14:15	第1回の意見交換会の振り返り
14:15~14:35	第1回の意見交換会でいただいた質問に対する回答
14:35~14:45	質疑応答(全体)
14:45~15:00	質疑応答(グループ)
15:00~15:10	休憩
15:10~15:55	グループワーク① (ストリートスポーツができる施設を整備する場合の課題と解決策の検討)
15:55~16:20	グループワーク② (ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツへの懸念や課題について)
16:20~16:55	グループワークで意見交換した内容を全体で共有(グループごとに発表)
16:55~17:00	事務連絡

※会の進捗に応じて、時間が変更になる場合がございます。

前回の振り返り

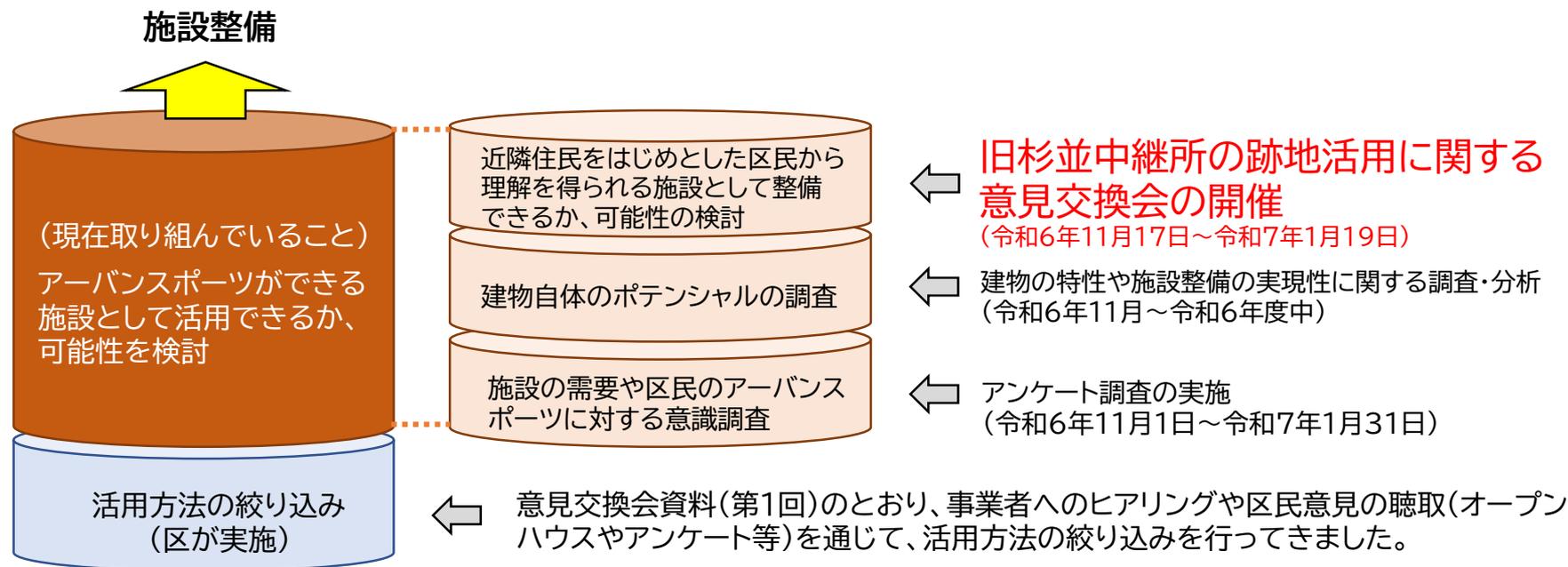
- 意見交換会レポート
- 主な質問と回答

配布している意見交換会レポート、
をご用意ください。

意見交換会の目的と皆さんと議論する事項

- 第2回から、より具体的な意見交換を実施するにあたり、旧杉並中継所の跡地活用の取組の全体像と本意見交換会の位置づけを改めて皆さんと共有します。

これまでの活用方法の検討結果を踏まえた、施設整備の検討イメージ



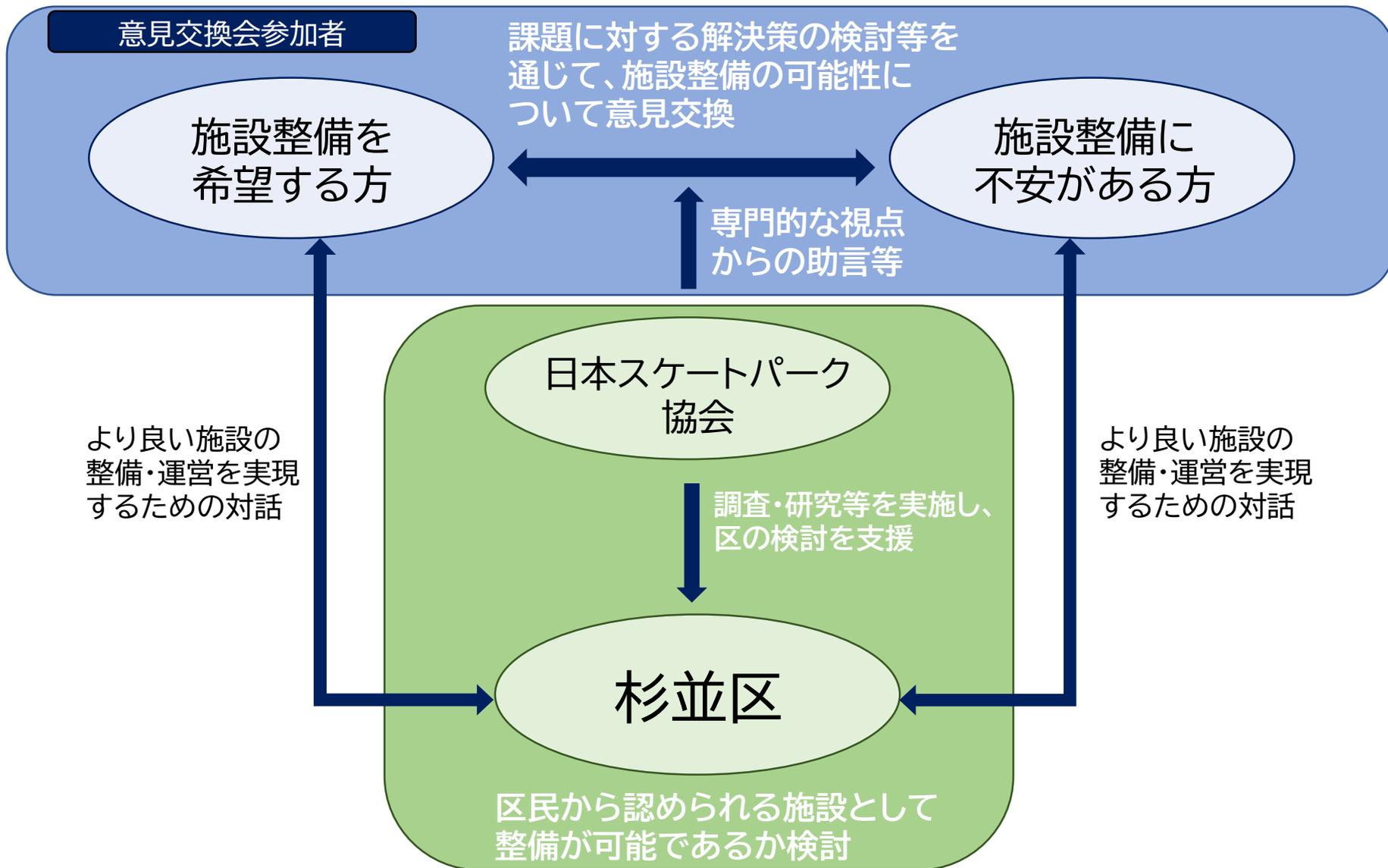
区ではこれまで跡地活用の方法について検討を重ね、スポーツ関連施設として活用する可能性を見出すとともに、施設の特性等を踏まえつつ、子どもから大人まで誰もがスポーツに親しむ環境づくりにつながることを期待できることから、**アーバンスポーツができる施設を整備することを候補として考えました。**

令和6年10月より、専門の事業者の支援を受けながらアーバンスポーツができる施設としての活用を本格的に検討することとし、施設整備においては、近隣住民をはじめとした区民の皆さんから理解を得られる施設とすることができるかについて、区民の皆さんと共に検討する必要があると考えたことから、意見交換会を開催することとしました。

区としてアーバンスポーツができる施設の整備を決定しておりませんが、意見交換会の目的は「アーバンスポーツができる施設を整備できる可能性」について、区民の方と意見交換することにありますので、アーバンスポーツに関する内容を中心に進めさせていただきます。

意見交換会関係者の相関イメージ

○ 意見交換会にご参加いただいている皆さんと、杉並区、検討を支援いただいている日本スケートパーク協会の相関イメージについて共有します。



主な質問と回答①

Q. 現在、平時は活用をしておらず、現状のままとすることもできると思うが、平時活用を検討する理由を教えてください。

A. 令和2年4月から清掃事業以外の用途で活用できるようになったことから、災害時の防災拠点として活用することとしました。

一方で、これだけの規模の施設は区内全域を見ても存在しないことや現在も施設の維持にはコストがかかっており、災害時のみの活用でなく、施設の特性等を踏まえながら有効活用を図ることで、新たなサービスの提供などにより区民サービスの向上につなげることができると考えたことから、平時活用を検討することとしました。

Q. アーバンスポーツと他の用途の複合化は可能なのか。

A. アーバンスポーツだけで施設全体を使用しない場合もあると考えておりますので、他の用途との複合化は可能です。例えば、ヨガやフィットネス、ダンスができる部屋や会議やイベントスペースの整備など、ゾーニングによって様々なパターンがあると考えています。

Q. かつて健康被害の原因となる化学物質が排出されたことがある施設であるが、現状を教えてください。

A. 旧杉並中継所においては平成12年4月に区に移管されてから、施設が廃止される平成20年度末まで、環境モニタリング調査を実施しており、排気・大気関係、排水関係ともに、基準値を下回っていることが確認されています。調査結果の詳細は、区公式ホームページ(右記二次元コード)をご参照ください。なお、今後、機械撤去を行う場合は、周辺環境への影響や工事施行者の安全に留意しながら工事等を進めてまいります。



主な質問と回答②

Q. 旧杉並中継所にアーバンスポーツができる施設を整備した場合に予測される利用者数等について教えてください。

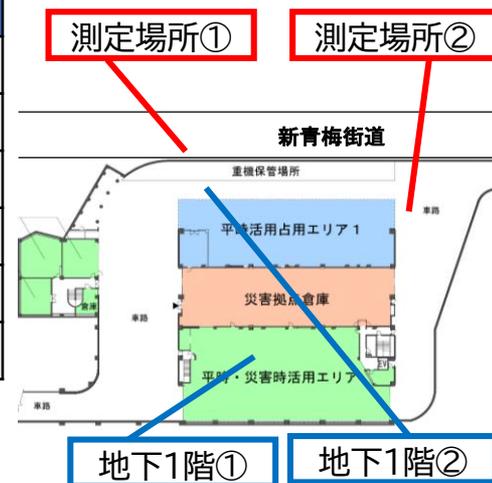
A. アーバンスポーツができる施設として整備する場合の利用者数については、どのような施設として整備するのか(利用対象者、営業時間、面積等)によって大きく変動するため、現状の検討段階では明確に示すことができません。参考として、他自治体におけるアーバンスポーツ施設の利用者数をお示しします。

夢の島スケートボードパーク(江東区):1200名程度/月
 約2,400㎡の敷地の中に初級エリア(650㎡)、中級エリア(1,450㎡)が設けられる施設(地下2階の機械室が約1800㎡)。利用料金は一般450円、小人150円

Q. 施設内で滑走した際にどの程度の音が出るのか数値化して示すことはできないか。

A. 区で所有している計測器で、旧杉並中継所周辺の音の計測を行いました。(12月9日(月)午前11時から正午)

測定場所	測定時の状況	計測値
①施設北西入口付近 (新青梅街道沿い)	平常時	51dB~75dB
	スケートボード滑走等(地下1階①、シャッター閉)	50dB~74dB
	スケートボード滑走等(地下1階①、シャッター開)	50dB~74dB
	スケートボード滑走等(地下1階②)	55dB~74dB
②地下1階昇降設備室	スケートボード滑走等(地下1階①、シャッター閉)	44dB~59dB
	スケートボード滑走等(地下1階①、シャッター開)	51dB~58dB



※測定場所①における測定値は自動車の通行状況で増減しました。

【参考】音の目安(杉並区 公害苦情のハンドブック参照)

20(木の葉の触れあう音) 30(郊外の深夜、ささやき声) 40(住宅街の深夜、図書館) 50(静かな事務所)
 60(静かな乗用車、普通の会話) 70(電話のベル、騒々しい事務所) 80(地下鉄の車内(窓を開けたとき))
 90(大声での独唱、騒々しい工場) 100(電車の通過するときのガード下)

主な質問と回答③

Q. 旧杉並中継所と似たような環境にあるアーバンスポーツ施設の事例を教えてください。

【①世田谷公園スケートボード広場】

(開設)2010年4月11日

(住所)東京都世田谷区池尻1-5-27

(利用できる種目)スケートボード、BMX、
インラインスケート等

東急田園都市線 池尻大橋駅徒歩18分

東急世田谷線・東急田園都市線 三軒茶屋駅徒歩18分

(設置の経緯)

世田谷公園では、平成5年頃から自由広場においてスケートボード利用があり、スケートボード愛好者の自主グループが中心となって、利用ルールやマナーの呼びかけなど、一般利用者と共存できる環境づくりに努力してきた経緯があります。世田谷区では、このような地道な活動により、世田谷公園でのスケートボード利用が広く認知されてきたことから、公園内にスケートボード広場を整備しました。

(利用時間と休場日)

- ・ 使用時間 午前9時～午後5時(4月から9月は閉園時間を午後7時まで延長)
- ・ 休場日 ・年末年始(12月29日から1月3日)、施設管理上使用できない日、雨天時 等

(利用料金) **無料**

(利用のルール(抜粋))

- ・ このスケートボード場は、スケートボードやBMX、インラインスケート等のストリートスポーツを楽しむための施設です(BMXの場合、バーエンド、ペグ、ペダルはプラスチック製のものを使用してください)。
- ・ 初めて利用される方は、**世田谷公園有料施設窓口で登録**をしてからご利用ください(**毎年更新**)。尚、登録の際に**登録シールをお渡ししますので、ヘルメットに貼るか、携帯**してください。

(安全ルール(抜粋))

- ・ **ヘルメットやプロテクターは技量・場合に応じて適切に着用**してください。
- ・ 雨天時及び路面が濡れている場合は、危険ですので使用できません。
- ・ 目的外の使用や危険と思われる使用はおやめください。

主な質問と回答③(続き)

(利用マナー)

- 混雑時には、利用者同士でゆずり合って、順序良くご利用ください。
- スケートボード広場内は、**禁煙**です。**ゴミは、各自お持ち帰り**ください。
- 荷物や貴重品等は、ご自分で管理してください。
- 路面のゴミや落ち葉など、利用者でも協力して拾っていただくようお願いします。
- 周りの方に迷惑となる行為はおやめください。**利用ルールや係員の指示に従わない場合は、利用をやめていただきます**ので、ご了承ください。



SL PARK フラットエリア



SL PARK セクションエリア

【世田谷区ホームページを参照】

※世田谷公園スケートボード広場は、公園内でも他の施設とはフェンスによって隔離されていることから、施設外部に対して用具の飛び出しなどの危険が及ぶことが無いように配慮された造りとなっています。

公園の担当者の方に話を聞いたところ、「職員による見回りとマナー違反への声掛けの実施や利用登録時にルールをレクチャーする等といった対応でマナー遵守を働きかけている。

また、利用時間を9時～17時(4月から9月は19時まで)としていることも、マナー遵守に効果があるのではないかと思う。」と話されていました。

利用状況については、「公園窓口の職員が見回りの時に施設内でのマナー違反などを注意することはたまにあるが、施設に来るまでの公道での滑走などについて通報を受けたことはない」とのことでした。

主な質問と回答③(続き)

Q. 旧杉並中継所と似たような環境にあるアーバンスポーツ施設の事例を教えてください。

【②すみだスケートボードパーク】

(開設)2024年4月22日

(住所)墨田区向島5-9-1 区立銅像堀公園

(利用できる種目)スケートボード

曳舟駅 西口から 徒歩 10分

京成曳舟駅 文化センター口から 徒歩 14分

東向島駅 徒歩 14分

(設置の経緯)

昨今のスケボー競技に対する機運の高まりや施設利用者の需要が増加していることから整備。

(利用時間と休園日)

利用時間 午前10時から午後7時30分まで

休園日 12月29日から翌1月3日まで ※台風等悪天により施設利用を中止する場合があります

(利用料金) **無料**

(入場・受付)

- **登録を済ませたスケートボード利用者** ※見学者、保護者、付添人は入場できません。
- 各エリア入口にある受付用二次元コードをご自身のスマートフォン等から読み込み、**WEB上で受付**をしてから入場してください。
- スマートフォン等をお持ちでない方は、各エリア入口の受付簿に「リスト番号、年齢、入場時間等」を記載

(駐車場・駐輪場)

- 自転車は**指定の場所に駐輪**してください。
- 施設の**駐車場はありません。**
- 近隣の駐車場情報は以下をご参照ください。

主な質問と回答③(続き)

(登録方法)

- 18歳未満の利用者は保護者名と連絡先の入力が必要です。
- 事前登録完了画面を印刷か保存をし、堤通公園管理事務所でご提示ください。
- 堤通公園管理事務所前にある二次元コードからも事前登録が可能です。
- 堤通公園管理事務所で確認ができたなら、**リストバンドをお渡し**します。
- 小学生以下はピンク、中学生以上はブルーのリストバンドを受け取ってください。

(利用条件(抜粋))

- 複数人での同時滑走は大変危険です。みなさまで譲り合ってください。
- 利用者間で生じたトラブルについては、必ず、堤通公園管理事務所までお知らせしてください。
- **複数人での登録はできません。1人につき、1件の申請が必須**です。
- **受領したリストバンドは、必ず登録した本人が装着してください。リストバンドの貸し借りなどの不正利用を発見した場合、パーク利用を制限**します。
- リストバンドは、**毎年度更新が必要**です。
- パーク外の車道や歩道では、スケートボードに乗ることはできません。スケートボードは、パーク外で利用しないでください。
- **ヘルメットを必ず着用してください。**
- ヘルメット未着用者は、パークを利用できません。
- また、安全のためプロテクター等の着用を推奨します。



リストバンド(小学生以下)



リストバンド(中学生以上)

パーク利用上の注意について

◆**パーク内**では、以下のルールやマナーを守り、他の利用者とゆずりあって利用をしてください。

- 飲食（水分補給は可）、飲酒、喫煙はできません。
- 他の利用者に迷惑になる行為は禁止します。
（例）大声で叫ぶ、スピーカー等を使用し音を出す、衣類を脱いで上裸で利用するなど。
- 故意に施設や用具等を破損させた場合には、修理費を請求する場合があります。
- 登録を済ませた利用者以外は入場できません。
※インラインスケート、BMX等、他の競技は利用できません。
※見学者、保護者、付添人等は入場できません。
※犬・猫等のペットは入場できません。
- 備付器具を除く器具類（セクション、カラーコーン、スピーカー等）の持込はできません。
- スクール等、営利行為はできません。
- ゴミは各自で持ち帰ってください。

◆**パーク外**では、以下のルールやマナーを守り、他の利用者の迷惑にならないようにしてください。

- 喫煙はできません。
- パーク外でスケートボードに乗ることはできません。
- パーク周辺で騒ぐなど、他の利用者に迷惑になる行為は禁止します。
- ゴミは各自で持ち帰ってください。

◆**ケガ・事故について**

- ヘルメットを必ず着用してください。
- ヘルメット未着用者は、パークを利用できません。
- また、安全のためプロテクター等の着用を推奨します。

パーク内禁止行為 Banned in the Park



パーク外禁止行為 Banned outside the Park



利用者がルールやマナーを守り、安全にご利用いただけるようパーク内に管理用カメラを設置しています。

施設の利用ルールやマナーを順守できない方、迷惑行為や危険行為を行う方、施設管理者の指示に従わない方は、退場していただきます。

以上の禁止行為が続いた場合、施設を閉鎖することがあります。

主な質問と回答③(続き)

(重要事項)

- 施設内でのケガや事故は原則自己責任であることを理解して、利用をしてください。
- 使用前に道具を十分に点検し、無理なく自分のスキルにあった利用をしてください。
- 利用者がルールやマナーを守り、安全にご利用いただけるようパーク内に管理用カメラを設置しております。
- 施設の利用ルールやマナーを守れない方、迷惑行為や危険行為を行う方、施設管理者の指示に従わない方は、退場していただきます。
- 禁止行為が続いた場合、施設を閉鎖することがあります。



(すみだスケートボードパーク)



(中級エリア(バンク・アール複合))

【墨田区ホームページを参照】

墨田区の担当者の方に話を聞いたところ、施設外における滑走について「全くないとは言いえない。体感ではあるが、元々道路等で滑走していた方が施設に行くようになり、その結果、苦情は減ったように感じる」と話されていました。

墨田区では利用ルールやマナーの徹底を随時行うことで、住民ニーズの多様化を、公共のストリートスポーツ利用可能施設を設置することで吸収している。という例だと考えます。

主な質問と回答④

Q. スケートボード以外のアーバンスポーツができる施設についても説明してほしい。

(BMX)

- BMXは1970年代、アメリカのカリフォルニアで子どもたちがモトクロスバイクのようなトリックやレースを自転車で真似たことから始まりました。その後は競技として成長し、競技用バイクや専用コースが登場し、BMXレースは2008年の北京オリンピックから正式種目に、フリースタイルのパーク競技は2020年の東京オリンピックより正式種目となったアーバンスポーツです。

○特徴

- コンクリート等による滑走路面が整備されたスケートパークでは、主にフリースタイル(トリックやジャンプの技術を披露するストリート、パーク、フラットランドなど)が利用されており、ダート(土を踏み固めた)コースでスピードとテクニックを競うレースは、スケートパーク内では行われず、専用のコースで行われます。
- トリックをつなぎ合わせたものをルーティンといい、組み合わせは無限の可能性があり、ライダーはその可能性を追及しています。



【出典：一般社団法人 全日本フリースタイルBMX連盟より】

○騒音の問題

- 大きく分けると自転車に属するBMXは、ジャンプや着地、物越え、転倒の際に音が発生します。
- 練習中の掛け声や歓声が近隣住民に影響を与えることがあります。

主な質問と回答④(続き)

(パルクール)

- パルクールの歴史は、フランスの軍事訓練にルーツを持っています。1980年代に入り訓練法をさらに発展させ、現代のパルクールへと進化させました。都市環境に適応させ、自由な移動や自己表現の方法として確立しました。したがって、パルクールの起源は軍事訓練に基づいていますが、現代では競技やスポーツ、アート、哲学的要素を含む活動へと広がっています

○特徴

- 障害物を効率的かつ流れるように乗り越えたり、跳び越えたりする動きが基本です。都市部の手すり、壁、階段などが主な練習場となります。
- 見た目は危険そうですが、経験を積んだトレーナー(パルクールを行う人)はリスク管理を徹底し、安全に動作を行うことを心がけています。
- パルクールはスポーツの一種ですが、競技としての要素は少なく、他者との比較ではなく、自分自身の技術向上を重視します。



【出典:pexels-edslan-silva】



【出典:pexels-airamdphoto】



【出典:World Freerunning and Parkour Federation & Academyより】

○騒音の問題

- ジャンプやランディング時に発生する音や、壁や手すりに触れる音が響くことがあります。
- 練習中の掛け声や歓声が近隣住民に影響を与える可能性があります。

主な質問と回答④(続き)

(ボルダリング)

- ボルダリングは、登山の訓練として岩や壁を登る「ロッククライミング」から派生したスポーツです。クライミング技術を磨くための独自の文化として発展しました。20世紀後半には、ボルダリングが独立したスポーツとして認識され、屋内のボルダリングジムが普及することで、競技人口が増加しました。現在では、オリンピック種目にも採用されるなど、世界的なスポーツとして人気を博しています。

○特徴

- 比較的低い高さの壁を登るスポーツで、安全のためのロープやハーネスを使わず、クライミングマットで落下時の衝撃を吸収します。
- ウォールには「ホールド」と呼ばれる握る部分が設置されており、異なる色や形状で設定された「課題」を解決しながら進む点が特徴です。
- 筋力だけでなく、バランス感覚や柔軟性、問題解決能力を必要とするため、身体と心の両方を鍛えることができます。



【出典:International federation of sport climbingより】

○騒音の問題

- 壁から降りる際にマットに飛び降りる音が響くことがあります。この音は特に木造建築や住宅街近くの施設では問題視されやすいです。
- ボルダリングは仲間と会話しながら楽しむことも多く、大声での指示や歓声が近隣住民にとって気になる場合があります。

主な質問と回答④(続き)

(スラックライン)

- スラックラインは1960年代、アメリカのヨセミテ国立公園の「Camp4」というエリアで、クライマーたちが休憩中の暇つぶしとして、チェーンやロープを使って行った綱渡りが起源です。この活動は次第に発展し、2000年代にはヨーロッパで人気が高まり、ドイツの会社が設置しやすい専用ラインを開発したことで、世界的な普及が進みました。

○特徴

- スラックラインは通常、幅約2.5～5 cmのナイロン製のベルトです。長さは数メートルから数十メートルまであります。
- スラックラインはバランスを取ることが主な目的で、足元の不安定なライン上で歩くため、体幹や脚の筋肉を鍛えるのに効果的です。
- 静止したり、歩いたり、ジャンプしたり、さまざまな技に挑戦できます。



【出典:International Slackline Association: ISAより】

○騒音の問題

- ラインの支点に摩擦が生じる場合や、特に強くテンションをかける際に「ギシギシ」音や「クラック」音が発生することがあります。
- トリックやジャンプを行う際、スラックラインに強い力が加わるため、ラインが反動して大きな音を立てることがあります。

主な質問と回答⑤

Q. ストリートスポーツとアーバンスポーツについての説明

(騒音の問題が顕著なタイヤ(ウィール)の付いているアーバンスポーツ)

- この意見交換会では、アーバンスポーツの中でも**タイヤ(ウィール)がついている種目をストリートスポーツと呼びます。**
- 騒音の問題で、必ず例に上がる代表的なものが「スケートボード」です。
- スケートボードはタイヤで滑走する場合と、タイヤを支えている車軸を伴った「アルミニウム性のトラック」や「利用者が立って乗る場所＝木製のデッキ」を路面や構造物に擦りつけて滑る場合があります。
- スケートボードには衝撃を吸収するスプリングやクッションが付いていないため、ジャンプの着地の際は身体だけで衝撃を受け止めます。
- スケートボードがジャンプする際は「利用者が立って乗る場所＝木製のデッキ」を地面に蹴った反動を利用するのでぶつかる音がします。
- スケートボードの他にも、BMXやインラインスケート、キックボードといったタイヤで滑走するタイプのアーバンスポーツは音が出やすいです。

(タイヤの付いていないアーバンスポーツについて)

- パルクール、ブレイキン、ボルダリング、スラックライン、トランポリン等はタイヤが付いていませんが、練習中に仲間を励ます声や、取り組んでいる人を称える声は上がります。スケートボードよりも利用者人口が少なく、目にする機会も音を聞く機会も少ない可能性があります。

質疑応答(全体)

○これまでの説明を聞いて全体で質問したいことがありましたら、挙手でお知らせください。(10分)

※時間に限りがございますので、質問は簡潔にさせていただくようご協力をお願いします。
※このあと時間に、グループ内の職員へご質問いただくこともできます。

質疑応答（グループ）

○これまでの説明を聞いた感想や疑問に思った（モヤモヤした）点について、グループで話しましょう（15分）

休 憩

グループワーク①

【テーマ】

ストリートスポーツができる施設を整備する場合の課題と解決策の検討

【ゴール】

課題の解決策について、様々な視点から意見が出され具体化することができた。

【議論してもらいたい課題】

- (1)施設外部で起こるかもしれない騒音問題(公道・公園での滑走、施設利用時間外の音(話し声など))、マナー問題(ゴミのポイ捨てなど)に対する対応策や解決策について[20分]
- (2)施設内部で起こるかもしれないルール違反(ゴミの置き去り、ルールを守らない人への対応など)、事故・ケガに対する対応策や解決策 [15分]
- (3)その他に考えなければならない課題に対する対応策や解決策について各テーブルで意見交換[10分]

グループワーク②

【テーマ】

ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツへの懸念や課題について

【ゴール】

懸念を出し合い、その課題の解決策について、様々な視点から意見が出され具体化することができた。

【議論してもらいたい課題】

- (1) パルクール・ボルダリング・スラックライン等、ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツについてストリートスポーツと同様もしくはストリートスポーツとは別の課題や懸念があるか。[10分]
- (2) 課題や懸念がある場合、ストリートスポーツと同様の解決策で対応は可能か。[15分]

発 表

グループワークで話した内容についてグループごとに発表しよう！

【発表内容】

- 施設外部で発生するかもしれない課題に対する対応策や解決策
- 施設内部で発生するかもしれない課題に対する対応策や解決策
- その他に考えなければならない課題に対する対応策や解決策
- ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツに対する課題や懸念の考察

※時間は5分を目安としてください。5分経過した段階でお知らせします。

事務連絡

- 意見交換会に関するアンケート
- 次回の日程について
2025年1月19日(日) 午後2時から